

令和4年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策 ～移住による地域おこし～

事 項 書

日時：令和4年11月17日(木)13:30～16:00
場所：グリーンプラザおおだい 多目的ホール

1 開会あいさつ

2 参加者の紹介

3 「状況シート」の説明

4 意見交換

《前半》取組等についての質疑応答

《後半》人口減少下における地域の課題や今後の展望について

5 閉会あいさつ

令和4年度「みえ現場de県議会」会場レイアウト

【会場：グリーンプラザおおい 多目的ホール】

【敬称略】



議長 前野和美 副議長 藤田宜三

大台町ふるさと案内人の会
筒井敏

大台町観光協会
西口菜実

総務地域連携デジタル社会推進
常任委員長 石垣智矢

戦略企画雇用経済
常任副委員長 川口円

事務局席

記者席

(株)Verde大台ツーリズム
野田綾子

(一社)AWAプロジェクト
小林建一

昂学園高等学校 山田能健

大台町役場 宮本誉

委員 日沖正信

委員 谷川孝栄

委員 濱井初男

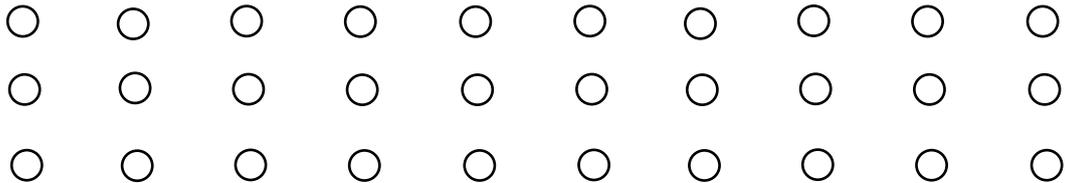
委員 山本里香

委員 山崎博

委員 小林貴虎

カメラ

傍聴席



入口

受付

令和4年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策 ～移住による地域おこし～

参加者一覧表

(敬称略)

No	氏 名	組 織 等
1	みやもと 宮本 ほまれ 蒼	大台町役場 企画課 移住定住・人口減少対策担当
2	やまだ 山田 よしたけ 能健	大台町役場 企画課、県立昴学園高等学校
3	こばやし 小林 けんいち 建一	一般社団法人AWAプロジェクト 理事
4	のだ 野田 あやこ 綾子	株式会社V e r d e 大台ツーリズム 代表取締役
5	にしぐち 西口 まみ 茉実	大台町観光協会
6	つつい 筒井 さとし 敏	大台町ふるさと案内人の会 会長

■三重県議会議員 出席者

氏名	役職名等	選挙区	会派
まえの 前野 和美	議長	津市	自由民主党
ふじた 藤田 宜三	広聴広報会議座長（副議長）	鈴鹿市	新政みえ
いしがき 石垣 智矢	総務地域連携デジタル社会推進常任委員長	いなべ市・員弁郡	自由民主党
かわぐち 川口 円	戦略企画雇用経済常任副委員長	津市	新政みえ
ひおき 日沖 正信	広聴広報会議委員	いなべ市・員弁郡	新政みえ
たにがわ 谷川 孝栄	広聴広報会議委員	熊野市・南牟婁郡	そうもう 草莽
はまい 濱井 初男	広聴広報会議委員	多気郡	新政みえ
やまもと 山本 里香	広聴広報会議委員	四日市市	日本共産党
やまざき 山崎 博	広聴広報会議委員	四日市市	自由民主党
こばやし 小林 貴虎	広聴広報会議委員	津市	自由民主党

計10名

令和4年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策～移住による地域おこし～

日時：令和4年11月17日（木）13:30～16:00
場所：グリーンプラザおおだい

【状況シート】

氏名	宮本 誉（大台町役場 企画課）
<p>《地域おこしや移住促進に向けて行っている取組》</p> <p>令和2年度からの第2期大台町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げたプロジェクトのひとつに「空き家等を活用した関係人口増加プロジェクト」があります。令和2～4年度に地方創生推進交付金の採択を受け、町内の空き家調査（内観）や関係人口増加のための取組みを実施しています。</p> <p>人口減少・高齢化が進む中、町内唯一の高校である昴学園高等学校を、町の活性化のためになくしてはならない高校として位置づけ、生徒の定員割れを回避するため、令和2年度から高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業補助金の採択を昴学園高校の魅力化を支援しています。</p> <p>《今後の展望や課題など》</p> <p>空き家対策や人口減少対策は当町の最重要課題のひとつであるため、引き続き対策していきたいと考えています。また、近隣市町にとっても同様の課題であるため、近隣市町と連携して取り組みたいと考えています。</p>	

**令和 4 年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策～移住による地域おこし～**

日時：令和 4 年 11 月 17 日（木）13:30～16:00
場所：グリーンプラザおおだい

【状況シート】

氏名	山田 能健（大台町役場 企画課、昴学園高等学校）
<p>《三重県に移住された理由》</p> <p>大台町は定員割れが続いていた昴学園高等学校を存続させるために「昴学園魅力化プロジェクト」を立ち上げ、地域おこし協力隊を募集していました。私は過去に教員や民間企業、青年海外協力隊やNPO 法人で働いてきた経験が活かせるのではと考え、平成 24 年にこのプロジェクトに応募し、協力隊員として働くことになりました。</p> <p>現在は三重県の支援を受けて「地域みらい留学」事業、内閣府の「高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業」（地域みらい留学 365）に携わっており、魅力ある学校作りのほかに生徒と一緒に学校 PR 活動等を行っています。ちなみに「地域みらい留学」とは、自分が住んでいる地域以外の公立高校に進学できる国内留学事業、「地域みらい留学 365」は高校 2 年生の 1 年間だけ他の公立高校で学ぶ留学事業で、昴学園はこの 2 つの留学事業に参加しています。県外へ昴学園と大台町の魅力を発信することで、年々問い合わせも増えており、大台町の魅力も伝わっているのではないかと感じています。</p> <p>私はもともと大台町(三重県)に移住をするために仕事を探していたのではなく、魅力を感じた仕事が大台町(三重県)にあったので移住を決めました。岐阜県の出身ですが、三重県とは縁があり、大台町に来る前は四日市市と紀北町で飲食店やNPO 法人で働いていましたが、これも自分がやりたいと思った仕事があったので移住をしました。</p> <p>《移住しての感想、課題など》</p> <p>大台町は人が優しく、自然豊かな環境で落ち着いて生活することができる素敵な町ですが、移住するまでその魅力は知りませんでした。私の移住のきっかけは魅力的な仕事があったからですが、住んでみて改めてその町の良さを知りました。1 日 2 日の滞在ではわからない魅力をどのようにして観光客に感じてもらうか、発信していくかが課題だと感じました。</p>	

大台町は内陸にある町ですが、熊野の海まで1時間、伊勢神宮まで1時間、津まで1時間ほどと公共交通機関は不便ですが、車では移動しやすい位置にあることも魅力の一つです。

私が移住したころ大台町の人口は1万人を超えていましたが、現在は8千人台となり、確実に人口減少が進んでいます。私が住んでいる地区も移住してきた頃は、葬儀の連絡があるとだいたい90代以上でお会いしたことのない方が亡くなるが多かったのですが、最近は区の行事でお会いした方が亡くなること続き、ますます人口減少を身近に感じるようになりました。

大台町は保育園から小学校、中学校、高校と教育環境は整っています。大台町だからできる教育を行い、少しでも人口が増えて欲しいと思います。

令和4年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策～移住による地域おこし～

日時：令和4年11月17日（木）13:30～16:00
場所：グリーンプラザおおだい

【状況シート】

氏名	小林 建一（一般社団法人AWAプロジェクト 理事）
<p>○移住について</p> <p>《三重県に移住された理由》</p> <p>津市から多気町に移住しました。以前から交流のあった大台町の工務店が今の代で会社をたたむことを検討していたため、工務店の事業継承をするために移住しました。</p> <p>また、住宅街よりも自然豊かな環境や人と人のコミュニケーションが豊かな環境で子育てをしたいと思ったのも理由のひとつです。</p> <p>《移住しての感想、課題など》</p> <p>仕事以外に田んぼやで米作りや鶏を飼って卵をとったり、住環境として充実しています。</p> <p>課題としては、子どもが高校生になると通学の交通が不便だったりするので、コミュニティ交通など、地域で工夫した交通手段ができるとありがたいです。</p> <p>○取組について</p> <p>《地域おこしや移住促進に向けて行っている取組》</p> <p>なるべく早い段階で空き家を流通してもらえるように、インスペクションを行い空き家の掘り出しをしています。きちんと建物の評価をしてあげることで次のステップへの後押しになり、空き家が流通しやすくなります。また、空き家購入者とのマッチングも行っています。</p> <p>《国や県の対応、支援策などについて》</p> <p>① 空き家を川上側から解決できる支援をお願いしたいです。</p> <p>② 助成金を受ける際に耐震基準適合を条件とされることが多いので軽減してほしい。</p> <p>《今後の展望や課題など》</p> <p>空き家を新しく楽しく利活用していきたいです。</p>	

組織プロフィール

事業所・団体名	一般社団法人AWAプロジェクト
所在地	〒519-2426 三重県多気郡大台町下楠 546-6
電話番号	090-1586-1604
代表者	谷藤 重美（代表理事）
設立	2021年8月2日
従業員・会員数	5人（2022年11月現在）
業務・活動内容	<p>大台町で空き家が年々増え続けている状況で、空き家は大切な資源であり、財産であると考え、可能性や活用方法を考え、それを実現させるためにAWA（空き家 わっけん あるんやに）プロジェクトを立ち上げた。</p> <p>空き家や空き店舗、空き地の新しくて楽しい利活用をデザインしており、令和4年1月からは、「大台町空き家・移住相談窓口 AWA サポートデスク」を開設し、町と連携して空き家相談や移住相談に積極的に取り組んでいる。</p> <p>〔事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域内の空き家問題の解決に貢献する事業 2. 地域内経済循環に貢献する事業 3. 地域に関係する人づくりに貢献する事業 4. その他、持続可能な地域づくりに貢献する事業

こんな方はご相談ください。

大台町内に空き家をお持ちの方・将来空き家になる住宅をお持ちの方
空き家をなんとかしたいと思っている方・空き家の活用を考えている方
大台町への移住を検討している方
私たちがサポートします。

空き家のこと

- ・各種相談受付
- ・空き家バンクに関すること
- ・空き家利活用のアドバイス

その他空き家に関することをご相談いただけます。

移住のこと

- ・各種相談受付
- ・地域の情報
- ・空き家の情報
- ・各種手続きの案内

その他移住に関することをご相談いただけます。



ホームページでは
まちの情報
住まいの情報
暮らしの情報を
発信しています。

<https://desk.awapj.com>

AWAサポートデスク |

検索

desk@awapj.com

AWA

空き家
わっけん
あるんやに

大台町空き家・移住相談窓口
AWAサポートデスクは
大台町からの委託を受けて
AWA（アワ）プロジェクトが
運営しています。

私たちは、この町にたくさんある空き家は
大切な資源であり、財産であり、
可能性だと考えています。



一般社団法人

AWAプロジェクト

〒519-2426
三重県多気郡大台町下楠 546-6
(AWAらぼ)



勢和多気ICから 車 12分 (7.6km)
JR川添駅から 徒歩 4分 (900m)
バス停下楠から 徒歩 2分 (500m)



大台町の
空き家・移住
相談窓口が
できました。



大台町空き家・移住相談窓口

AWAサポートデスク

まずはお気軽にお電話ください。

080-2489-8106



大台町
Odai Town

自然と人びとが幸せに暮らすまち

空き家の事なら・・・ AWAプロジェクト

大台町にたくさんある空き家や、空き店舗・空き地の、新しく楽しい利活用をデザインする有志団体です。空き家の活用を考えている方、空き家を探してる方、空き家で困っている方。どうぞ私たちにご相談ください。

AWA

私たちの住む大台町にはたくさんの空き家があり、その数は年々増え続けています。いつか・・・何とか・・・と思いつつなかなか進まないのが実情ではないでしょうか。私たちは、この町にある空き家は大切な資源であり財産であり可能性だと考えています。この町であなたと一緒にいろいろな活用方法や可能性を考え、それを実現するためにAWA（空き家 わっけん あるんやに）プロジェクトを立ち上げました。

業務内容

空き家活用・再生アドバイザー
ホームインスペクション（住宅診断）
空き家管理・家財整理代行
空き家と移住希望者のマッチング
ものづくり支援事業



プロジェクトメンバー



稲葉 直也

2011年2月、アトリエを構えて古びた木や朽ちた鉄、銅などを用いた家具や日用品オブジェなどの製作を開始。2017年5月、大台町の空き店舗バンクの制度を利用して、アトリエからほど近い場所に昔からあった、築70年の診療所跡地を店舗兼ギャラリーとして改装。古材を用いた家具製作や看板製作を通して、古びたものの利用価値や有効活用について様々な角度から考え提案している。



小林 建一

2017年に大台町の工務店兼設計事務所に転職。自宅は空き家バンクを利用し購入した古民家を自ら設計・改修。古民家を次世代に守り継ぐために古民家の利用・活用・改修を行っている。一級建築士・古民家鑑定士1級・既存住宅状況調査技術者 木造住宅耐震診断者・ホームインスペクター etc



佐々木 圭介

2016年に東京から大台町に移住。SEとして関わった「大台町空き家データベースシステム」開発プロジェクトを通して 町内の空き家利活用に関心を持つ。自らも2019年4月より空き家を利用した外国人向け宿泊施設を開業。AWAではおもに事務、折衝を担当。宅建士・古民家鑑定士1級・JSHI公認ホームインスペクター etc.



谷藤 重美

2001年大台町に移住。幕末期の空き家を自力でギャラリーに改装し敷地内にセルフビルドの工房を建設して木工と現代アートを行っている。自ら体験した移住・空き家活用・再生のノウハウを提供。



マイケル キフル

アメリカ出身。ビジネスコンサルティング会社の代表として日本と海外をビジネスでつなぐ役割を担う。インバウンドビジネスにも精通し、日本政府観光局が発行する訪日外国人向けのブックレット等も制作している。2016年大台町に古民家を活用したゲストハウスを開業。多くの外国人観光客を集め、町のインバウンド需要開拓に大きく貢献している。

一般社団法人 AWAプロジェクト

〒519-2426 三重県多気郡大台町下楠 546-6
info@awapj.com

大台町 空き家・移住相談窓口

AWA サポートデスク

desk@awapj.com

080-2489-8106

<https://awapj.com>

<https://www.facebook.com/awapj/>

<https://www.instagram.com/akiyawakkenarunyani/>



令和 4 年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策～移住による地域おこし～

日時：令和 4 年 11 月 17 日（木）13:30～16:00
場所：グリーンプラザおおだい

【状況シート】

氏名	野田 綾子（株式会社 Verde 大台ツーリズム 代表取締役）
<p>○移住について</p> <p>《三重県に移住された理由》</p> <p>自然が豊かな地域で暮らし・仕事を希望していたから</p> <p>《移住しての感想、課題など》</p> <p>たいへん満足しています</p> <p>○取組について</p> <p>《地域おこしや移住促進に向けて行っている取組》</p> <p>地域おこし、移住促進というダイレクトなキーワードではなく、地域の魅力づくりという意識で Verde の活動をしています。地域ブランディングにつながるコンテンツを造成し、販売することで地域に新しい仕事や若者の雇用が生まれるといいな、と考えています。</p> <p>《今後の展望や課題など》</p> <p>経済面でも環境面でも持続可能な仕事をつくり、地域に残していきたい。</p>	

プロフィール

事業所・団体名	株式会社V e r d e 大台ツーリズム
所在地	〒519-2501 三重県多気郡大台町下真手 308
電話番号	080-4840-7315
代表者	野田 綾子（代表取締役）
創業年月	2016 年 10 月
資格	<ul style="list-style-type: none"> ■旅行業務取扱管理者 ■日本山岳ガイド協会（JMGA）登山ガイド ■日本セーフティパドリング協会（JSPA）理事、SUP、カヤックガイド
経歴	<p>愛知県出身。大学卒業後、公立中学校体育教師を12年間務める。</p> <p>2013年、三重県大台町への移住を機に、アウトドアツーリズムに関わり、ガイド業をスタート。</p> <p>2016年、株式会社Verde（ベルデ）大台ツーリズムを設立。旅行業を取得し、宿泊サービス・アウトドアプログラムを提供し、地域ブランディング・観光振興に努める。</p>

**令和 4 年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策～移住による地域おこし～**

日時：令和 4 年 11 月 17 日（木）13:30～16:00
場所：グリーンプラザおおだい

【状況シート】

氏名	西口 茉実（大台町観光協会）
<p>○移住について</p> <p>《三重県に移住された理由》</p> <p>三重県松阪市出身。三重県を中心にアナウンサー、司会者として活動。 津市、四日市へ引っ越し後、大台町での行政アナウンサー採用をきっかけに、地域おこし協力隊として大台町に移住。 退任後、大台町観光協会にて勤務。</p> <p>《移住しての感想、課題など》</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然に囲まれて空気や水が美しい。喘息だが体調良い。 ・大杉谷自然学校による環境教育を取り入れた学校教育が素晴らしい。 ・日によって尾鷲方面、松阪方面、伊勢方面で仕事しているため、中央に位置する大台町は立地的に移動が便利。 ・空き家バンク制度が充実しており、大家さんと円滑にやり取りできるよう役場のサービスが手厚かった。土地の広さや家の規模からすると格安。 ・スーパー、ドラッグストア、ホームセンターがあるので思っていたより買い物には困らない。ネットショップを活用している。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫が多い。湿気が多く、カビが発生しやすい。 ・区費や組費が負担。引っ越して来る前に知りたかった。 ・ガソリンが高いので松阪に出た時に入れている。 ・専門の病院が松阪まで出ないとないため不便。 	

○取組について

《地域おこしや移住促進に向けて行っている取組》

地域おこし協力隊任期中は、ブログとSNSを活用した移住促進のための情報発信を行う。また、移住希望者向けに町内各区の調査を実施。地域行事や掃除・会議などの集まり、区費等に関する情報をまとめる。

《国や県の対応、支援策などについて》

三重県農山漁村づくり課による農山漁村起業者養成講座や三重県観光連盟による情報発信セミナーなどに参加し、横の繋がりができた。

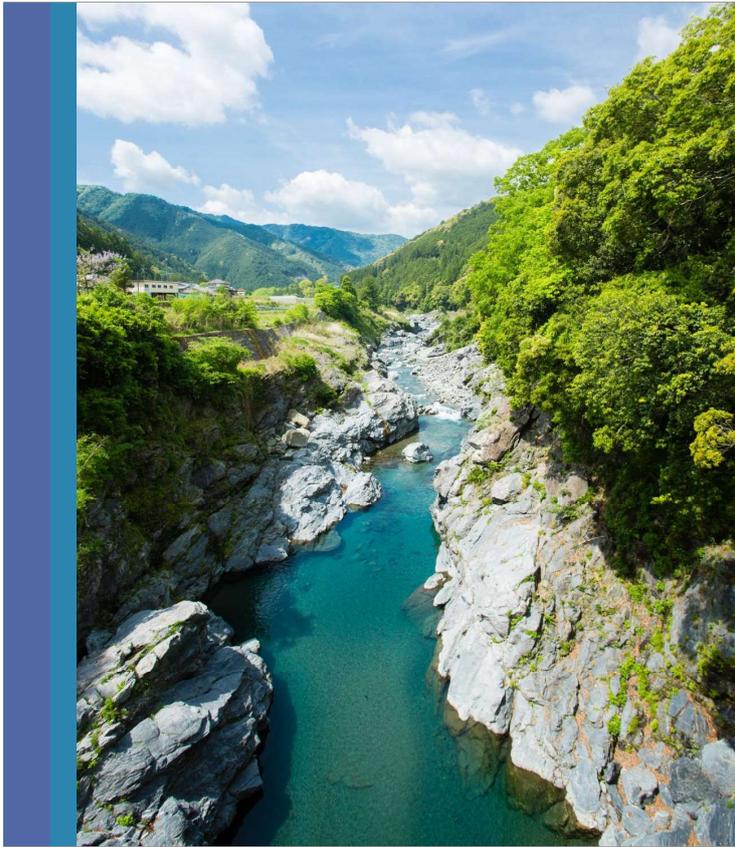
《今後の展望や課題など》

来年完成予定の新しい観光案内所を拠点に大台町の観光情報発信を続けていく。

息子が年少の時に引っ越してきて現在小学校4年。高校進学を機に市へ移り住むことを想定している。大台町から高校へJRで通うのは不便であると考える。

組織プロフィール

事業所・団体名	大台町観光協会
所在地	三重県多気郡大台町佐原 663-1
電話番号	0598-84-1050
代表者	会長 大西健二
従業員・会員数	3人（2022年11月現在）
業務・活動内容	<p>大台町の観光情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所での窓口案内、電話・メール・LINEでの観光案内対応 ・観光パンフレット作成、配布 ・WEBサイト、SNS（ツイッター、インスタグラム、フェイスブック、LINE）による旬の情報投稿 ・観光PR動画制作、YouTubeによる配信（週1回以上） ・イベント企画、運営（フォトコンテスト、フォトツアー、スタンプラリー等） ・新聞、テレビ、雑誌へのプレスリリース発信、取材対応 ・インターネット、新聞、テレビ、雑誌等による広告掲載



大台町観光協会

にしぐち まみ

西口 茉実

目次

1. 自己紹介
2. 地域おこし協力隊の紹介
3. 地域おこし協力隊時代の業務内容
4. 大台町観光協会の業務
5. 大台町観光協会の課題



自己紹介

にしぐち まみ
西口 茉実
三重県松阪市出身



2007年～ アナウンサー・レポーター・タレント・
ラジオパーソナリティー・各種司会・
ご当地アイドル・キャンペーンモデル

▶2012年～ 大台町行政番組「お～ちゃん」キャスター

2016年～ 地域おこし協力隊 ▶大台町に移住

2018年～ 大台町観光協会

地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域へ移住して、地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る総務省の取組

仕事の内容

地方自治体が課題に応じてミッションを決める

大台町で活躍する 地域おこし協力隊

① 中川きよみ さん

2015年 道の駅 奥伊勢おおだい

協力隊として農園を開拓！

2018年 卒業・起業

無添加果肉入りシロップ「もりのしずく」開発



② 井元しゅんすけ さん

2016年 大杉谷自然学校

生き物好きを活かして「おいも」のニックネームで野外自然体験を伝える人気スタッフに！

③ 保木まさし さん

2019年 法菓堂

宮川地域唯一の和菓子屋さんの事業継承。新しい和菓子を開発！

栗谷で「和菓子カフェかなみどう」開業



3

地域おこし協力隊 時代の 業務

【ミッション】

移住促進のための
町外への情報発信

【仕事内容】

- ・SNSとブログを活用した情報発信
- ・取材、記事執筆、写真撮影
- ・東京でのイベント参加
- ・町内へ向けた協力隊のPR



【楽しかった・嬉しかったところ】

- ・あるタイミングでフォロワーが一気に増えた
- ・町民も発信を見て応援してくれた
- ・移住者ブログで全国2位になった

【大変だったところ】

- ・発信の継続
- ・ネタ探し
- ・アンチ

4

大台町観光協会 の 業務

- ・観光案内所での窓口案内、電話対応、お土産販売
- ・観光客向けの情報発信
 - WEBサイトの更新、SNS（Twitter、Instagram、Facebook）の運用
- ・事業の企画、実施
 - フォトコンテスト、フォトツアー、スタンプラリー、プレゼントキャンペーン、展示会など
- ・販促物の作成
- ・広告宣伝（新聞、雑誌、テレビやラジオ、WEB）

大台町観光協会の業務 具体例 ①

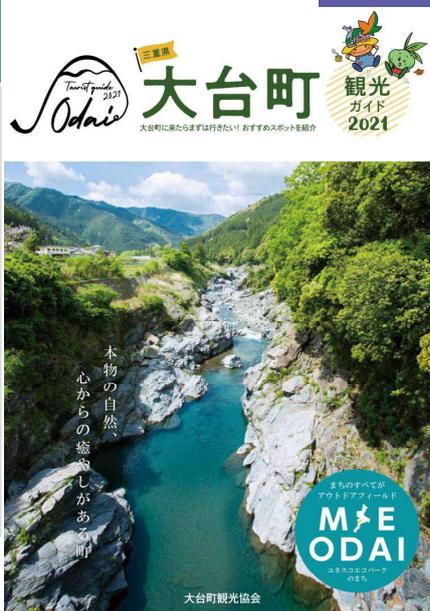
ポスター



駅や空港に掲示し、
大台町の観光をPR

- ・ブランディング
- ・キャッチコピー
- ・デザイン会社との
打ち合わせ
- ・校正

パンフレット



- ・掲載情報の選定
- ・キャッチコピー
- ・掲載事業所との打
ち合わせ
- ・記事執筆
- ・写真撮影、選定
- ・デザイン会社との
打ち合わせ
- ・デザイン校正（役
場、商工会、掲載事
業所）

大台町観光協会の業務 具体例 ②

フォトコンテスト

第4回 大台町観光協会 フォトコンテスト 2022

おおていフォトコン 2022

お台町の魅力を撮影者の目線で伝えた写真作品募集

応募期間 令和4年11月1日(火)～令和5年1月15日(日)

募集テーマ 春/夏/秋/冬/星空

主催*大台町観光協会

カメラ愛好家から
写真を提供

- ・写真店に監修を依頼
- ・内容を定める
- ・予算の調整
- ・募集
- ・一次審査会
- ・一般投票の開催
- ・表彰式
- ・受賞作品の活用

フォトツアー

大台町紅葉フォトツアー 2022

2022年 11月20日(SUN)

大台町観光協会施設事務所 集合

参加費 4,000円(税込)

定員15名

主催*大台町観光協会

桜と紅葉シーズンに
撮影スポットを巡る

- ・企画
- ・講師、旅行会社と打ち合わせ
- ・募集
- ・荒天での中止連絡
- ・次回リピート割
- ・参加者アンケート

大台町観光協会の課題 ①

観光地としての町の認知度不足

解決策

SNSキャンペーンによる一般拡散力の利用

ようこそ三重県・大台町へ!

フォロー&リツイート
温泉ペア入浴券
プレゼントキャンペーン

応募締切 2020年10月31日

大台町観光協会

大台町観光協会

簡単にそのまま
焼までまるごと食べられる

三重県
大台町の
新商品
「奥伊勢鮎干もの」
3名様にプレゼント

PRESENT CAMPAIGN

参加条件
①フォロー&リツイート 2020.5.23
②当選後に感想を投稿 Sat 締切

宮川物産 MIYAGAWA BUSSAN

フォロー&リツイート
WOOD CRAFT HIROTA
ヒロタのつみき
ストラップ
3名様にプレゼント!

MIE ODAI PRESENT CAMPAIGN

三重県大台町の伝統的
家具職人による1950年
以上の歴史が詰まった!
大台町産産物を
プレゼントします。

2020.5.29 締切
大台町観光協会

フォロー&リツイート
PRESENT CAMPAIGN

奥伊勢えごま煎茶セット

奥伊勢えごまの葉を乾燥させ、大台茶とブレンドしてティーパックに詰めました。
えごま煎茶だけでは、癖があり飲みにくいので、大台茶を入れて飲みやすくしています。
えごま煎茶には、香や旨み、まろやかな口当たり、喉越し、余韻など様々な特徴があります。

えごま煎茶 三重県大台町

緑茶ブレンド ほうじ茶ブレンド

奥伊勢えごまプレゼント企画第1弾
奥伊勢えごまをプレゼントしたい方の方
ご応募をお待ちしております!

2021.6.10 ▶ 6.20
大台町観光協会

大台町観光協会の課題 ①

観光地としての町の認知度不足

解決策

大台町魅力発信ツアーの実施

▶参加インフルエンサーのファンに効率よくリーチできる

▶参加インフルエンサーが大台町ファンになりピート、さらなる情報発信を行ってくれる

▶参加者間の交流

限定 8 名

1泊2日の観光体験をあなたのメディアで発信してください

インフルエンサー募集!

第2回大台町魅力発信ツアー

三重県

三重県の中南部にある大台町は、町全体が大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークに登録されている自然豊かな町です。日本有数の多雨地帯である町の中には、国土交通省の「水質が最も良好な河川」に選ばれている宮川が流れています。美しい水と共に暮らしが営まれてきた町。この大台町の魅力をあなたのメディアでPRしてくれるインフルエンサーを募集します。1泊2日で開催する大台町魅力発信ツアーに参加していただき、体験を記事や写真、映像で紹介してください。一緒に大台町を盛り上げてくれるインフルエンサーのご応募をお待ちしています。

3月15日 月

10:45集合

3月16日 火

14:00頃解散

1泊2日

特典01 1泊2日で大台町を満喫できる

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク」（生物圏保存地域）に登録されている大台町は、観光地としても人気です。清流宮川でのカヤックやSUP、初心者でも挑戦できるトレッキング、環境にやさしいE-Bikeの体験や自然の恵みを使った美味しい食事などをたっぷり楽しんでいただけます。

*天候等の条件により内容が変更となる場合がございます。

特典02 マリriott系列のホテルに宿泊

令和2年秋以降順次開業している、日本各地の駅の駅に近接する「フェアフィールド・バイ・マリriott」。身も心もリフレッシュする大台町の旅の拠点となるフェアフィールド・バイ・マリriott 三重をおおない（令和3年3月オープン）では、心地よいホテルステイが満喫できます。ニューオープンの特別なお客様としてお迎えします。

特典03 温泉とフレンチディナー付き

夜は森の中のホテル「奥伊勢フォレストピア」で、温泉とディナーをお楽しみいただけます。奥伊勢フォレストピアは森の中に佇む美しい大自然に囲まれた大台町のホテルです。温泉浴と森林浴を同時に体験できる「奥伊勢宮川温泉」でゆったりと癒していただき、自慢のフレンチをご堪能ください。

応募条件
18歳以上で一定の読者・フォロワーを持ち、継続的に発信している方
※詳しい応募条件は大台町観光協会WEBサイトをご覧ください。

料金 1万円 応募締切 令和3年2月21日

https://web-odai.info/

大台町観光協会の課題 ①

観光地としての町の認知度不足

解決策

YouTube発信

アウトドア初心者の女子二人が奥伊勢フォレストピアのレンタサイクルを利用し、自然いっぱいの三重県大台町を巡り、大台町の魅力を発信するYouTubeチャンネル「E-BIKEで行く！初心者自転車女子部」を開設【更新頻度】週1~3回

E-BIKEで行く！

初心者自転車女子部

チャンネルをカスタマイズ 動画を特徴

ホーム 動画 ショート 再生リスト コミュニティ チャンネル 検索

朝8時から予約！名物の古民家力千水屋さー

390 回視聴・2分前

今更から、自転車女子部に新しいカメラマン登場！三重県大台町に遠来の外観する水永屋さんが登場らしく、毎年チャレンジするも発表で食べられずじまいのママが、当日朝に予約に行くというシステムを知り、ナオミ先輩と一緒に朝の早業にありつために頑張ります！

●Vol.58 最近.....

アップロード動画 ▶ すべて再生

12:12

57 回視聴・2 日前

12:12

228 回視聴・4 日前

12:12

158 回視聴・5 日前

12:12

195 回視聴・9 日前

12:12

187 回視聴・2 週間前

12:12

131 回視聴・3 週間前

初心者自転車女子部

E-bike 初挑戦!



ご清聴ありがとうございました！

令和4年度「みえ現場 de 県議会」
人口減少対策～移住による地域おこし～

日時：令和4年11月17日（木）13:30～16:00
場所：グリーンプラザおおだい

【状況シート】

氏名	筒井 敏（大台町ふるさと案内人の会 会長）
<p>《地域おこしや移住促進に向けて行っている取組》</p> <ul style="list-style-type: none">・町、地域の活性化に向けた取組・町の自然環境と歴史を基にした地域づくり（別紙資料参照）・公民館講座…教育委員会 ふるさと再発見講座開催中（平成29年から） <p>《国や県の対応、支援策などについて》</p> <ul style="list-style-type: none">・熊野古道伊勢路保全活動や大杉谷登山関係・地域おこし協力隊関係など <p style="text-align: center;">その他</p> <p>《今後の展望や課題など》</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍での生活様式が変わった中での対応	

組織プロフィール

事業所・団体名	大台町ふるさと案内人の会
所在地	三重県多気郡大台町新田521-1
電話番号	080-5115-2863
代表者	筒井 敏
創業年月	平成18年4月
従業員・会員数	15人(2022年11月現在)
業務・活動内容	<p>事務所…大台町観光協会内(大台町佐原663-1)</p> <p>TEL: 0598-84-1050</p> <p>町、地域の活性化に向けて取り組んでいる。(詳細は別紙参照)</p> <p>私たちふるさと案内人の会は、人を案内するだけでなく、町興しを先導し、協働しながら、必ず黒子に徹することを基本としています。</p> <p>町からの補助金など一切受けず、すべて会費と稼ぎで運営、活動しており、発足から16年目を迎えました。</p> <p>ふるさと案内人の会の活動内容はホームページでご覧いただけます。</p> <p><大台町ふるさと案内人の会></p> <p>https://odai-guide.com/</p>

自然環境と歴史を基にした地域づくり

町づくり大台町ふるさと案内人の会 三重県大台町

1 めざす姿、実践のねらい

我が国が地方分権型社会へ向かっている今、私達の地域の真の財産とは何なのかそれは紛れもなく、大台ヶ原を源として、日本三大秘境大杉谷溪谷を抱き遙か伊勢湾へ注ぐ全長91キロの流域を誇る、三重県最大の宮川流域の自然環境と、その中で先人達が連綿と築いてきた歴史と文化に尽きると思います。ネットで売買できないこの二つの財産を活用して、地域の活性化を推進出来ないものか、と案内人の会を結成、地域外のお客様には二つの財産に基づく交流を、地域内住民には、将来に備えた地域内分権を先導して分権型社会への地域づくり活動と地域間交流を推進しております。

2 (1) 熊野古道三瀬の渡し復活

昔から熊野詣での重要な渡し、暴れ川、宮川を地元の漁師、真奈胡さんが倭姫の命を、渡した縁故で渡し場の所に伊勢神宮摂社多岐原神社が祀られています。現在でもこの渡しがなければ約6キロ迂回して対岸の多岐原神社から三瀬坂峠を越え滝原宮・熊野へ。地元三瀬の渡し保存会と協働して渡しを復活させました。



熊野古道・復活三瀬の渡し清流宮川を渡す保存会



川添神社五身懸け祭り



大杉溪谷・堂倉滝

(2) 熊野古道・馬鹿曲と橋の復元

地元の人も話には聞いたがいったことはないと言う秘道とそこに架かる橋を地元住民と案内人の会で復元、自分達で測量から橋の設計図も作り町、県へ働きかけ活動から1年で、昔の風情残る道と、そこに架かる馬鹿曲り橋が復元できました。この橋は見事な石垣を橋脚とし支えられていて、宮川の直ぐそばでありながら山石を野面積みで頑固に組まれているので現在も少しも乱れていません。造り方は方丈橋と言い橋脚と石積がうまくマッチした造りです。橋を支える石積みにも目をむけてほしい。



復元された馬鹿曲り橋と昔の風情を味わう古道歩き



伊勢暴動の置き土産・善光寺報恩堂ご開帳祭り



3 実践成果

県内外からの来訪者と交流もあり地域の活性化に大きな役割を果たしています。各地域で保存会や地域の未来を語る会を立ち上げ事業の継続に取り組んでいます。私達は案内人の立場からアイデアも含め地域の活性化のお手伝いをしている。主役は地域の住民であること、そして私たちは、黒衣であることを徹底しています。その他熊野古道沿道に残る歴史遺産、史跡、まちお興しなど、7つの地域お興しに関わってきた。是非この機会に見所一杯の大台町の歴史や熊野古道を訪ねてみてください。

大台町ふるさと案内人の会 ☎0598-84-1050 大台町観光協会内

大台町ふるさと案内人の会の活動と地域との関わり

三瀬の渡し(リフレ大台学園)

大平山登山(川添小学校)



地方分権型社会と町の活性化のもと、
私達の地域の本当の財産とは何なのか、
それは、大台町の自然豊かな**環境と景観**
山・川・その地に残る歴史・文化
地域の特長を活かした、**特産品**これを基に
人を呼びたい、**大台町**に来なければ
見られない、体験できない、味わえない、
これぞ我々の本当の財産なのではない
のでしょうか。

私達案内人の会は、

人を案内するだけでなく、**町お興しの**仕掛け人

なのです。そうして**地域お興しを先導し**

協働しながら必ず黒子に徹する

ことを**基本**としています。

町からの**補助金**など一切受けず、

すべて会費と稼ぎで運営、活動しています。

発足から16年目を迎え

当初13名の会員が20名になり各人が

○ 旧町史・村史を 基本にマニュアルのない。

○ 各人の個性を活かした案内を

地元の言葉で語る。

○ お客様のニーズに合わせる、を基本に。

毎月1回の例会と運営委員会を開催しながら

反省と学習を16年間続けています。

めざす実践のねらい

- 社会情勢への対応
- 町の特徴を活かす
- 町に人を呼ぶ
- 人材育成



町には何があるだろうか

自然豊かな環境、山、川歴史、

地域の特産を生かした特産品

これを基に人を呼び込み大台町に

来なければ見られない体験できない

味わえない **これが本当の町の財産**

社会情勢への対応

- 地方分権が進む分権型社会を支える
地域内分権とはなんだろうと考えた時、**国・地方の財政の悪化、少子高齢化による過疎化、**
- **地方**や**町**に頼っては何もできない、
住民が自分達の手で町の活性化をやらなければ町が崩壊していくのではとの思いで、
立ち上げたのが
大台町ふるさと案内人の会です。

町の特色を生かす

具体的に言うなら。大台町を取り巻く**自然環境**・
日本三大秘境の大杉谷溪谷・大台ヶ原を源流に
宮川は三重県最大の河川全長91キロ、その2/3の、
60キロが流れる大台町・**清流宮川**の**自然や景観**
など、大台山系への登山など自然から受ける感動と
驚異、また大台町に残る歴史と史跡、**伊勢国司北畠**
一族終焉の地・様々な思いを抱えて旅人が通過した
熊野古道伊勢路が今甦っています。



宮川ダム湖 大杉谷

シシ淵・大杉溪谷名所



町に人を呼ぶ

ネットで売買できない、この財産を活用して、
地域の活性化を推進出来ないものか、
案内人の会を結成、地域外のお客様にはこの
財産に基づく交流を、地域内住民には、
将来に備えた地域内分権を先導して分権型
社会への地域づくり活動と
地域間交流を推進しております。

地域間交流

各地域の特産、特色を活かした活動・行動こそ、
人を呼び込む最大の戦術ではとの思いで、
幾つかの事業を手助けできればとの思いです。
地域間交流こそ、地域住民が自分達の手でつくり、
育てていくことが、地域を活性化させ、
地方分権型社会の在り方ではないのかと
思ったからです。

人材育成

これは私の持論ですが、**地元、地域のことを**

一番知っているのは**地元で育った人たち**です。

又、その人たちは40年以上いろいろな分野で活躍し、

いろいろな**ノウハウ**を持った人材です。

この人達を、**地域お輿に活用**しないで、

どうするんですか。

さいわい町内各地域には勤めを離れ、それぞれの地域

で永年生活した**住民の知恵**を生かしてもらおう。

人材育成

この人達を中心に**地域の特色**を活かした、

よい意味での町興しの、地域間競争で

町の活性をしなければならないのです。



○ 地域や地元のことを一番知っているのは

地元で育った人たちです。

ですから私達案内人の会は、人を案内する

だけでなく、まちお興の仕掛け人なんです。

○ そうして地域お興しを先導し協働しながら必ず

黒子に徹することを基本としています。

今まで地域とコラボをしながら6カ所での地域お興に

関わりました。その成果の一端を

少しだけ紹介します。



三瀬の渡し



三瀬の渡し保存会 熊野古道三瀬の渡し



熊野古道ウオークの旅人を渡す

熊野古道馬鹿曲りと橋の復元



復元された馬鹿曲橋と熊野古道ウオーク



復元された熊野古道猿木坂とレンガ作りの眼鏡橋

歴史・文化

無量山千福寺（通称、柳原観音さん）



宮川の絶景・千福寺裏庭



北畠家 三瀬の館跡



善光寺報恩堂まつり ご開帳(宝泉寺)



報恩堂春祭り



地域の学校との関わり

出前事業

総合学習・遠足

地域の歴史

町内の熊野古道の歴史

リフレッシュ大台学園活動

川添小学校への関わり

- 総合学習
- 遠足
- 稲づくり(田植えから稲刈り)
- 野外学習・全校生大平山のぼり
- 学校祭 (文化祭)

地域の子どもは地域で育てよう

- 明るい家庭づくりの推進
- 青少年団体の育成及び社会参加活動の促進
- 青少年活動リーダーの養成及び指導者の
資質向上
- 地域ぐるみによる育成活動及び非行防止活動

熊野古道荷坂峠親子ウォーキング



大台町公民館講座

「ふるさと再発見講座」

大台町の歴史・文化・自然などを「知る」講座
です。

身近な地域の歴史や見所などを知る

ことで、自分のまちに一層親しみや愛着を
持つことができます。

- **平成29年度から3年間21講座を開催
年間7回教室での講座開催。**
- **令和3年度からは現地研修を地元の
案内人に案内して取り組んでいます。**

教育委員 社会教育委員

- 連携の必要性
- 学校と地域とのあり方
- 学校教育と社会教育との関連

ご清聴ありがとうございました。